

平成28年7月1日号 (No.165)

## 「 恐るべし子どもの発想 」

伊丹市立総合教育センター  
所長 後藤 猛虎

1学期もあと20日となりました。振り返りや評価で多忙な時期ですが、健康に気をつけて乗り切してほしいものです。

さて、これは、児島 邦宏先生が東京学芸大学教授時代に参観した、ある小学校の1年生の算数授業での話です。子どもたちの机には、14個のおはじきが、ばらばらにおいてあります。そして、先生が「机の上に14個のばらばらのおはじきがありますね。このおはじきを、一目見て14個とわかるように並べかえましょう」という問題を出しました。



【夏場のエコに向けて】

先生の考えた授業展開では、子どもは、たぶん10個と4個に並べるだろう。または、5個と5個と4個に並べる子もいるだろう。ここを足がかりに10個と4個に分けると個数がわかりやすいことを理解させ、10の位の意味をわからせるというものだったのでしょう。予想どおり、ほとんどの子が、先生が考えた並べ方をしました。

ところが、一人「まだある」と言った子がいました。そこで、「じゃ黒板で並べてみて」ということになりました。その子は、14個のおはじきで14という数字を作りました。先生は自分の意図と違っていたので、数字を作るなんてと思い、クラスのカでこれがわかりにくいことを本人に理解させようと思いました。先生は「みんな、どう？これよくわかる？」と聞きました。子どもたちは、先生の意に反して「これが一番よくわかる」といったのです。先生には、すぐにはその意味が理解できませんでした。

この子は、初めは10個と4個に並べていました。しかし、「一目見て」10個かどうかは数え直さないとわからない。それなら、10個で4をつくり、4個で1をつくって、14の数字にしたらすぐわかんと考えたのです。

さて、皆さんが、このような授業展開になったらどう対処しますか。人は自分の思っている意図と違くと、それ以外をよく思わない傾向があります。この先生はまさにそうだったのでしょう。この子の意見を聞くゆとりがなくなり、14と数字で表した意味に気づかなかったのです。子どもの意見はどんな時でもしっかり丁寧に聞くことです。

そして、「10個と4個で14という数字にしたんだね。だったら、みんなが考えた10個と4個の分け方と同じ仲間だね。よく考えたね。すばらしい！」とほめられたら、この子はもっと算数好きになったかも……。それにしても、子どもの思考・発想は恐るべしです。

# 学習指導の改善・充実に向けて～平成28年度全国学力・学習状況調査から～

## 国語編

昨年度の結果から、国語において伊丹市では「文章を正しく読むこと」、「目的に沿って文章を書くこと」に課題が見られました。それらの力をつけるためにはどのようなことに取り組めばよいのでしょうか。文を「読む」「書く」ことの基本の力や、「読む」「書く」ことのポイントについて、今年度の小学校国語B問題を例にお伝えします。

### 小学校国語Bから

#### 【出題の意図】

目的や意図に応じて、グラフや表を基に自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

2

六年一組の高野さんの学級では、健康な生活のために「早ね早起き朝ごはん」運動に取り組んでいます。高野さんが書いている「報告文の一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告文の一部】

○「早ね早起き」活動のまとめ

1 成果  
アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていることが分かりました。

「次の日に学校がある日」に夜十時を過ぎて起きていない人の割合が全国平均を上回り、早ねができていない割合は、夜十時までに寝る人の割合が半ばを過ぎた。それが半年間の活動後には、夜十時までに寝る人の割合が A である。その理由として、(表1)から、「成長に大事なすいみんを十分にとるために、夜十時までは寝ましよう」という保健室の先生のお話やみんなの心に残ったのだと考えます。他にも、毎日体を動かすように、体育がない日にクラスで外遊びを行う活動や、「健康せんげんカード」に早ね早起きができなかったかを記録する活動を行ったこともあげられます。

2 課題

成果があった一方、生活のリズムを保つという点で、今回の活動では改善できず、これから解決していきたい課題があることが分かりました。

課題は(図2)から分かるように、

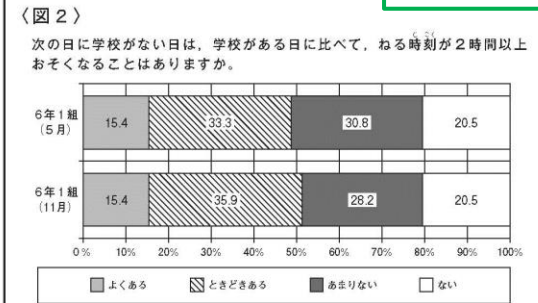
B この課題を解決するためには、テレビやゲームの時間、メールなどをする時間、そして「健康せんげんカード」の記録方法について考える必要があることが(表2)から分かります。

C 3 解決方法  
そこで、わたしたちは多くの人を取り組める次のような解決方法を考えました。

・休みの日にも「健康せんげんカード」に記録をつけるようにする。  
・今日は、これらの解決方法に取り組んでいきたいと思えます。

○「朝ごはん」活動について  
(報告文が続く)

※問い 一・二(一)・三は省略

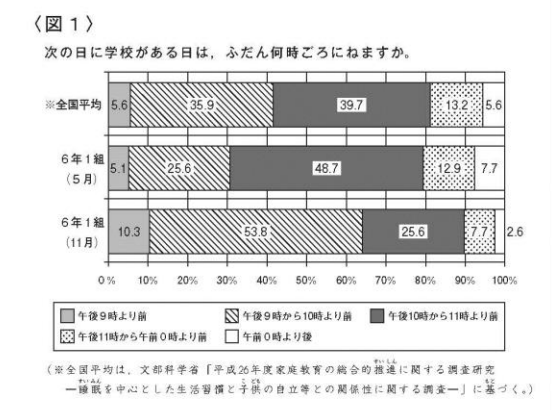


【表2】  
ねる時刻が2時間以上おそくなる理由は何ですか。(いくつ答えてもかまいません。)(6年1組 11月)

夜おそくまでテレビを見たり、ゲームをしたりしているから。	20人
夜おそくまで友達とメールなどをしてるから。	14人
休みの日は「健康せんげんカード」に記録しなくてもいいから。	10人
家族のみんなも起きてるから。	4人
その他	7人

【表1】  
早ねをするようになった理由は何ですか。(いくつ答えてもかまいません。)(6年1組 11月)

保健室の先生のお話から、すいみんが成長に大事だと分かったから。	23人
毎日体を動かしたら、早くねられるようになったから。	14人
「健康せんげんカード」に記録するから。	9人
早ねを毎日続けるようにしたら習慣になったから。	8人
早ねをしたら授業に集中できるようになったから。	5人
その他	11人



### 問い

(2) 高野さんは、「2 課題」を受け、多くの人を取り組めることを考えて「3 解決方法」を書こうとしています。

【条件】

- (表2)の結果から考えて書くこと。
- 「テレビやゲーム」と「メールなど」の両方の言葉を使って書くこと。
- 二十五字以上、五十字以内にとめて書くこと。

25字

50字

【正答例】  
ねる時こくがおそくならないように、テレビやゲームの時間、メールなどをする時間を決める(43字)

【正答の条件】 次の条件を満たして解答している。  
① (表2)の結果から考えられることを書いている。  
② 「テレビやゲーム」と「メールなど」の両方の言葉を使って書いている。  
③ 25字以上、50字以内で書いている。

【正答について】  
(表2)の結果と、「2 課題」における、「テレビやゲームの時間、メールなどをする時間」について考える必要があるという内容にも着目しながら、課題に対する解決方法を捉える必要がある。その際、「3 解決方法」の二つ目として「休みの日にも『健康せんげんカード』に記録をつけるようにする」ことであることを踏まえた上で、「テレビやゲーム」、「メールなど」という二つの言葉を使い、指定された字数の範囲内で書く必要がある。

「読む」「書く」ことの力をつけるには毎日の積み重ねが重要です。子どもにどんな力をつけたいのかを意識し、授業や朝学の時間などに力を伸ばす活動を取り入れていきましょう。

## 「読む」「書く」のポイント

**文章(報告文等)を読むポイント**

問いを把握する

- ・問題を先に読む
- ・本文の中から問題提起となる文を見つける

キーワードを見つける

- ・本文の中の資料を指すことば(例：～が(表2)からわかります)
- ・接続語(例：その理由として～ そこで～)

**答えの文を書くポイント**

文を作る前に

- ・指定のことばや文字数制限など、条件を確認する
- ・自分の考えを示すための根拠を明確にする

文の推敲

- ・問いの指定のことばや、キーワードを元に、いくつかの短文を作成する
- ・文をつなげ、文のはじまり・終わりや、文字数の指定など、条件に合うよう推敲する

## 文章が正しく読める 目的に沿って文章が書ける

**文章構成**

- ・「はじめ・中・おわり」、「起承転結」等、基本の文章構成を理解する
- ・小段落・大段落など文章の区切り方を理解する
- ・接続語を用いて適切に文章をつなぐことができる

**文の基礎**

- ・主語・述語など、文章内のことばの関係を理解する
- ・動詞・形容詞など、ことばの役割を理解する
- ・助詞などを用いて、正しくことばをつなぐことができる

**ことばの知識**

- ・漢字・熟語の練習によることばの正しい形・使い方の定着を図る
- ・辞書を活用し、ことばの意味を理解する
- ・新聞や図書室の本等を通して、様々なことばの知識の増加を図る

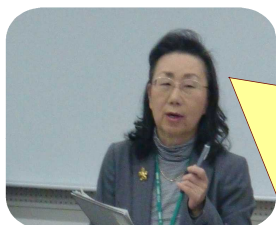
## 「読む」「書く」ための基本の力



# 初任者訪問指導から

今年度、幼稚園2名、小学校33名、中学校12名、特別支援学校1名、高等学校2名の先生方が伊丹に採用されました。新規採用教員の指導力及び実践力の向上をめざし、訪問指導を5月中旬～6月下旬にかけて実施しました。

授業力向上（カリキュラム）支援センターコンサルタントからのメッセージを参考に、若手教員の先生方、授業力の向上を図りましょう。



山田 恵子  
コンサルタント

## 本物の教師になるために学び続けましょう！

### ○学びに集中できる環境づくり

- ①教室前面はすっきりしていますか  
（時計や色彩の多い掲示物は集中力の妨げになります）
- ②机や棚の中は整頓されており、教室にゴミは落ちていませんか

### ○学びに集中できる学級づくり

- ①学習ルールは習慣化されていますか
  - ・教師や友だちの話は最後までしっかり聞く
  - ・場に応じた声の大きさを意識できる
  - ・正しい姿勢で学習できる
- ②教師の発問・指示は短く端的に、具体的に意識していますか

### ○学ぶ楽しさが実感できる授業づくり

- ①授業中、子どもの発表や活動を取り入れていますか
- ②机間指導が机間散歩になっていませんか  
机間指導：子どもの様子を見つつ、目標について評価し、声をかける  
机間散歩：机の間を歩き、子どもをただ見ている状態
- ③板書に「めあて」や「まとめ」を書いていますか

## 授業改善に向けて！

### ○先輩教員に授業を見ていただく

\*授業後に自分からアドバイスを受けに行く

### ○職員室で他の教師（含管理職）と会話しよう

\*何気ない会話の中から授業のヒントや心を和ます話題などがみつかることもある

### ○他の教師の授業や学級の様子を見よう

\*よいことは真似ることも大事である

### ○子どもと話そう

\*雑談の中に本音やヒントが隠れている

### ○教室の座席表に子どもの学習上の課題や支援を要する内容を記録しよう（席替えの度に）

\*子どもの目に絶対に触れないように厳重に管理する

### ○研究発表や授業研究会、研修会などに積極的に参加しよう

\*「百聞は一見にしかず」学び続ける姿勢が大事である

### ○困ったときはカリセンに来よう

\*早期解決は明日への活力につながる



岡本 光子  
コンサルタント